

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	学校建物ユニバーサルデザイン化事業			会計	款	項目	大	小
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	長橋 祐之			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校の生徒、教職員及び学校施設利用者	意図	学校施設のバリアフリーを実現し、誰でも使いやすいユニバーサルデザイン化された施設の整備をする。
事業内容	学校施設内のバリアフリーの実現や校内移動の支援のための施設整備、施設のユニバーサルデザイン化を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーへの対応が基本。 ・肢体に障害を持った生徒の移動の円滑化の要請が大。 ・中期後期計画上においては、エレベーター設置事業が主体。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① エレベーター設置校数	2	0	1	校	↑↑↑	
	② エレベーター設置設計校数	0	2	0	校	↑↑↑	
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・事業意図を実現させるためには、施設のユニバーサルデザインの計画立案が必要。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		104,545,910	7,139,320	87,801,720			
事業費(b)(円)		100,582,500	6,448,320	84,789,720			
うち一般財源		1,494,000	6,448,320	27,539,720			
職員給与費(c)(円)		3,963,410	691,000	3,012,000			
人役・職員(人)		0.55	0.10	0.40			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.11					
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	学校施設のバリアフリーの充実。	③取組の課題	建築確認が必要となる事業であり、法的適合性を求められることから、既存建物の改修も必要となる。
②今年度(H27)に実施した取組	中学校にエレベータ設置及びバリアフリー改修工事を実施。	④今後の改善計画	国庫補助制度の活用及び他の改修事業と一体的に実施することにより、コスト削減を図る。